

平成 29 年 6 月 20 日

第 6 回山梨県マンドリンフェスティバル実行委員会報告書

山梨県マンドリンフェスティバル
事務局 遠山 忍

各位益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。過日のマンドリンフェスティバルは大盛況の裡に終了しました。実行委員の皆様には大変お世話になり改めて御礼申し上げます。

さて、6 月 18 日に開催しました「実行委員会(反省会)」につきましてはご多用中のところご出席いただきありがとうございます。当日の協議内容について下記の通り報告します。

記

開催日時:6月18日(日)午後1時30分～2時30分 会場:甲府市東公民館(2階会議室)

出席者:12名(敬称略)

役員:堀口昭(会長)、今村辰夫(実行委員長)、久保田昭次(副実行委員長)、田中昭子(副実行委員長)、内田由美子(会計)、遠山忍(事務局長)

委員:常盤由美子(甲府代理)、片田克身(ますほ)、中沢純子(アコルデ)、川崎今朝雄(カンタービレ)、荻野敏子(いさわ)、高橋ひかり(都留文大)

議 事:

(1) 実施概要報告

入場者 600 人、チケット売り上げは加盟団体割り当て以外ではプレイガイド 102 枚、当日販売 96 枚となった。

用意したパンフレットが足りなくなるほどの入場者で大盛況であった。

アンケートでも、構成、進行、司会、演奏内容について好意的な感想が大多数であった。

予算通りの収支であったが、プール金を取り崩しての開催で、連盟の財源は大きく目減りした。

(2) 収支報告

内田会計担当より別紙(当日配布)の通り報告。田中会計監査担当より監査報告。報告案の通り全員により承認された。

(3) アンケート集計報告

回収数は 280 枚。

50～70 歳代の高齢者が 8 割、県内がほとんどだが、県外からも 20 人位が来場。

来場動機は、出演者の家族、知人がほとんどだったが、チラシ、ポスターを見た、という回答も目立った。ポスターのインパクトのあるデザインが効果を奏した。

入場料、会場、開催インターバルについては、ほぼ予想通り。

金額は妥当、安いが 95%、会場は甲府にしてほしいという意見が 15 人。開催は毎年やってほしいが 7 割。

ステージ構成・司会については、ほぼ全員が好意的な回答をしている。流れがスムーズだったこと、特に司会者が好印象だった。

Marinetteステージは、ほとんどが満足している。

3部構成は変化があつてよかつた。

終演時間が遅くなつたことと休憩時間が長いという少数の意見もあつた。

パンフ、ポスターについては、大好評。豪華、贅沢という回答もあつた。

印象に残つた曲については、さくら奇想曲が最も多く、少年時代、英雄行進曲と続いている。全体として皆が知っている曲が上位に来ている。

Marionetteの曲は、ほぼすべてに対して好印象。初めて聴いた人も多かつた。

その他の意見としては、様々だが、好意的な回答が圧倒的に多い。ステージマナーの一部に批判的な意見もあつた。

詳しくは集計表をグラフ付きで配布したので、参考にしてほしい。

(4) 各団体の意見感想

・甲府 MC:盛況で良かつた。単独演奏に参加できなくて残念だったが、合同に参加し楽しかつた。

・ブリランテ:全体的には良かつたと思う。他の団体との交流もありいい体験ができた。季節を考えて選曲したことで多くの方に喜んでもらったと思う。会場は甲府市内にしてほしいという部内の声もあつた。リハーサルは昼間にやってもらいたい。次回も開催して欲しい。

・カンタービレ:自分たちの定演が近かつたので大変だつた。合同演奏会もいいが、鑑賞会などの研修的なイベントも今後考えてみたらどうか。

・アコルデ:いい経験ができた。他の団体の演奏を聴き勉強になつた。合同練習では他のグループと交流がありよかつた。

・いさわ MC:初めての人も居たが、多くの人と関わつたのはよかつた。フェスティバルは大舞台で私たちにとっては励みになる。今後もよろしくお願ひしたい。

・久保田:代振りをさせてもらいすごく楽しかつた。しかし、本番の指揮者を想定して振ることの難しさを知つた。パートリーダーを決めるのには苦勞した。こういうことは実行委員会が主導的に決めるのがいいのではないか。隣の人をなるべく他団体の人となるよう配置したことで交流があつたと思う。個人的には本番ではマンドリンを弾かせてもらい良かつた。

・ますほ:全体として親睦が深まりよかつた。CDを聴くと吉田さんの息使いが聴こえ臨場感を感じた。控室の使い方を提案したが、うまくいったと思う。

・都留文大MC:あんなに大勢の前で弾いたことが無かつたのでいい経験になつた。CDを聴いたら自分たちの練習している曲があり参考になつた。

・その他:合同練習の前には各トップで音合わせをしてからにした方がいい。プルトにしたことで楽器の構えが内側に向いてしまうことがあるので、客席に楽器が向くよう気を付けたい。ステージに座ってみたら、プルトでなくてもよかつたと思つた。

(5) 次回マンドリンフェスティバル開催について

3年後としたら2020年となり東京オリンピックの年になる。どこの団体も今後若い人が増えるということは期待できない。予算もなく今回のようなイベントは難しくなる。

合同演奏会がなくなれば県マン連の意味もなくなるので、基本的には継続することを前提に、開催方法はいろいろアイデアを出し合い模索して行く。

今日の段階では、次回の具体案は提示できないので、各団体でも検討して提案をしてほしい。

以上の通り報告します。アンケート集計表はYahooボックスに格納しました。IDとパスワードで閲覧できます。ID・パスワードは事務局に直接お尋ね下さい。ビデオは現在編集中とのことです。近日中に各団体にDVDディスクを1枚ずつ送付する予定です。(コピーは各自でお願いします)

※堀口会長から、実行委員の皆様に慰労品をいただきました。欠席の方には後日お渡します。